

# 生活科 市電通りのたからを見つけよう

## ※市電(富山市内を走る路面電車)

小学校低学年

小学校高学年

小学校中学年

中学校

### ESD の要素

持続可能な社会  
づくりの  
構成概念

多様性

相互性

有限性

公平性

連携性

責任性

ESD視点で  
育みたい  
能力/態度

【批判】批判的に考える力

【未来】未来像を予測して計画を立てる力

【多面】多面的、総合的に考える力

【伝達】コミュニケーションを行う力

【協力】他者と協力する態度

【関連】つながりを尊重する態度

【参加】進んで参加する態度

### プログラムの目標

- ①市電通りのさまざまな場所や人々に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて、見たり、調べたりしようとする。
- ②行きたい場所や会ってみたい人を決め、挨拶やインタビューの仕方を考えとともに、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分との関わりについて考え、多くの人に伝えることができる。
- ③自分たちが生活している地域のよさや、地域の人々が抱いている思いに気付くことができる。

### プログラムの概要

小学校の近くにある市電通りは、児童に馴染み深い場所。市電通りの「たから」を見つけることをテーマに、町探検に出かけ、たくさんのたからを見つける。そして、その中から気になった、ひとつのたからを探究する。たからを大切にしている地域の人に出会い、話を聞く中で地域の人の思いに気づき、地域をもっと知りたいという意欲を高める。そして、大切なたからを友達や家族、地域の人に伝えたいという思い、町への愛着を深める。この授業は、富山市内で町探検の授業を行っている神通碧小学校と連携している。他校の児童の学ぶ姿から、新たな気づきをえて活動を見直し、自分や自分のたからを「自信まんまん」に思う児童を育む。

### 学習指導要領との関連

学年	小学校2年
教科/領域	生活
学習内容	(3) (8) 自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみ愛着をもち、進んで交流することができる。



町を探検する中で、インタビューや体験活動によって社会の相互性を学び、地域の人々が抱いている思いに気づくことができる。



挨拶やインタビューの仕方を考えることで、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分との関わりについて考えることができる。



探検をする中で、地域の人にインタビューをすることで、コミュニケーション力が育まれる。



地域の人々と交流することで、自分たちが生活をしている地域に愛着をもつようになる。



自分のたからを調べることで、進んで地域の人々に関わっていこうとする態度が育まれる。

持続可能な社会の構成概念

ESDで育みたい能力／態度

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
1時間目	自分のたからについて考えよう		批判	未来
	自分の「たから」は何かについて考え、「たから」だと思うものについて話し合いをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが探検をする場所について、地図を見せながら説明する。</li> <li>児童の「たから」の見方について、それぞれの考え方が分かるように板書に位置づけていく。</li> </ul> 〔町の地図〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
2・3時間目	市電通りのたからをたくさん見つけよう		批判	未来
	市電通りに行き、自分が宝だと思うものをたくさん見つけてくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故を起こさないように、安全指導をする。</li> <li>「たから」だと思うものを写真で撮れるようにデジタルカメラを用意しておく。</li> </ul> 〔デジタルカメラ、町の地図〕	多面	伝達
			協力	関連
			参加	
4時間目	映像を見て、これからの自分の探検について考えよう		批判	未来
	映像①・②・③を見て、これからの自分の探検を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像①②③に出てくる児童の体験活動や思いが理解できるように、キーワードが書かれたカードや図を使って説明する。</li> <li>すべての児童に、新たな課題が明確になるように、個に返すときに具体的に話すようにする。</li> </ul> 〔映像教材〕	多面	伝達
		※映像①：このまちの宝物に触れてみよう ※映像②：でかけてみたよ！話を聞いてみたよ！ ※映像③：まちの魅力の花を咲かそう	協力	関連
			参加	

活動・学習内容

指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕

1つのたからについて調べていこう

5~8  
時間目

自分が1番気になっている「たから」について、インタビューや体験活動をする。

- ・事故を起こさないように、安全指導をする。
- ・探検に行ってきた、分かったことを学級のみんが共有できる掲示物を作る。
- ・探検に行くだけでなく、ノートをまとめる。時間を大切に、自分の考えを整理させるようにする。  
〔デジタルカメラ、ノート〕

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加



映像を見て、これまでの自分の探検について考えよう

9時間目

映像⑤・⑥を見て、これからの探検について考えよう。

- ・映像⑤⑥に出てくる児童の思いが理解できるように、キーワードが書かれたカードを使う。
- ・映像に出てくる児童と重ねながら、自分の探検を振り返り、新しい課題がもてるようにする。  
〔映像教材〕
- ※映像⑤：知りたい気持ちが育っていったよ！
- ※映像⑥：大切なたからをどうしたい？

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加



探検で分かったことや感謝の気持ちを伝えよう

10~12  
時間目

探検を行い、分かったことを多くの人に伝えたり、お世話になった人に感謝の気持ちを伝えたりする。

- ・児童の願いが実現できるように、教材の準備をする。
- ・お礼の気持ちを伝える際に、手紙を出す時は、手紙の書き方や出し方の手本を示すようにする。

批判 未来

多面 伝達

協力 関連

参加

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー

- ・富山大学人間発達科学部
- ・富山市立神通碧小学校
- ・富山市立堀川小学校
- ・環境教育ネットワークとやまエコひろば
- ・富山県生活環境文化部環境政策課
- ・中部ESD環境教育プログラム形成推進委員会
- ・環境省中部環境パートナーシップオフィス
- ・株式会社TREE
- ・特定非営利活動法人ボランティアネイバーズ

実証協力校

実証校：富山市立堀川小学校

実証協力校：富山市立神通碧小学校